

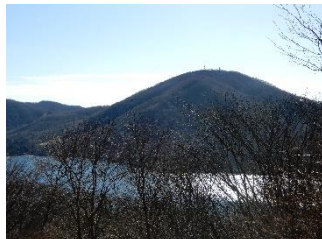
赤城 足柄山・陣笠山・薬師岳・出張山 のんびり山歩き

きつい山を、時間を気にしながら歩くのは、今回の忘年山行ではしなくなかったので、緩い山、距離の短い山を探しました。赤城山は、8年前に黒檜山から駒ヶ岳、その翌年に地蔵岳に登っています。ここは東京駅から新幹線に乗れば、早朝出発でなくても来ることができます。このコース、歩く時間も2時間程度と、我々には適当な歩行時間でした。

雪が無かったのは少し物足りなく感じましたが、天気が良くて稜線歩きは太陽の暖かさを感じながら、快適な散歩となりました。



見落とした「五輪峠」の標識。そっぽを向いて小さくひっそりと架かっていた。

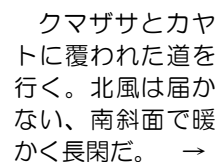


← 靴紐を締めなおして出発。ほどなく最初のピーク足柄山を通過 ↑。裸木の向こうに大沼と地蔵岳 ↑。



← 陣笠山に着いた。山頂は開けているし、12 時になるので、ここで昼食を食べることにした。あまりに日当たりがよくて、霜柱が融け始めていたが、それぞれ乾いた場所に腰を下ろして食事をした。

昼食の後、記念写真を撮る。→



クマザサとカヤトに覆われた道を行く。北風は届かない、南斜面で暖かく長閑だ。→



← 野坂峠付近で写したものの。写真中央の青い屋根が青木旅館。今日の行程はそこまで。風呂とお酒が待っている。



数歩、道から外れて、下から声をかけて写真を撮った。



このコースの最高峰 薬師岳に着いた。しばし休憩し、再び LMC 旗を取り出して。



出張山山頂に到着。ここからの景色。黒檜山と駒ヶ岳、大沼をバックし阪西さんが写してくれた。新緑の頃、紅葉の季節もいいだろう。このコースをまたいつか歩きたい。



出張峠。出張山からの下りには、鎖が設置された急斜面がある。出張峠からはなだらかに下る道が、上の写真「関東ふれあいの道」分岐の道標がある場所まで続く。ここからは、舗装された道路に行く。→



大沼湖畔に出た。「赤城大沼用水」の説明板がある。写真を拡大して読んでみた。赤城大沼用水の構造や、完成までに関わった人々や経緯、どのように利用されてきたか、など興味深いことが書かれている。



お世話になった青木旅館



《忘年の宴》



忘年山行のメインは終わり、翌日は大沼を半周して赤城神社に参拝し、覚満淵を一回りして青木別館で昼食に「わかさぎ定食」とビールをいただき、タクシーを頼んで前橋駅に。こうして2023年のLMCの行事を無事終えたのでした。